

埼玉障害者職業センターの 職場復帰支援（リワーク支援）ご案内



復職を考えるときに、
このようなご希望、
不安はありませんか？

休職者

自宅外活動が安定してできるようになってきたので、職場に近い環境で復職準備に取り掛かりたい。

事業主

どのような配慮が必要になるのだろうか？どれくらい仕事ができるのだろうか？

主治医

通院服薬は守れて、体調も安定しているが、復職に向けて取り組める場所はないか？

埼玉障害者職業センターでは、うつ病など精神障害により休職している方、休職者を雇用する事業所の方に、主治医の協力を得ながら職場復帰の支援を行っています。

■利用の流れ

問い合わせ

- 休職している方、職場の方、主治医、どなたでもお気軽に問い合わせください。
- 説明会の日時をご案内します。

説明会参加

- 当センターの支援内容を具体的にご説明します。
- ご家族、職場の方等の同伴も可能です。

個別相談 コーディネート開始

- 休職者、職場の方、主治医（以下、3者）から情報収集および意向の確認を行います。
- 当センターの支援内容等について、3者の同意をいただきます。

体験参加（基礎評価）

- プログラムに体験参加し、職場復帰に向けた課題を整理します。
- 整理した課題に対し、「リワーク支援計画」として本格参加の取り組み目標を設定します。内容は、3者にご確認いただきます。

プログラム本格参加 （リワーク支援）

- 支援の進捗状況について、職場の方、主治医と共有しながら進めていきます。
- プログラムの日程、内容は裏面をご覧ください。

職場復帰

- リワーク支援実施状況を、職場の方、主治医と共有し、職場復帰に向けた調整に役立てていただきます。
- 復職後、復職者、職場の方に対し、フォローアップ（相談）を行います。

※その他、利用の要件については、裏面をご確認ください。

問い合わせ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

埼玉支部 埼玉障害者職業センター リワーク支援室

〒336-0027

さいたま市南区沼影1-20-1武蔵浦和大栄ビル303号室

TEL：048-872-2100 FAX：048-865-5356

Mail:saitama-ctr@jeed.or.jp



ご利用に当たっての基本的な事項

■ 対象者の方

- うつ病等により休職中の方で、復職に向けリワーク支援を受けることを希望していること。
※ご本人の主体的な取り組みが重要です。
 - 主治医がリワーク支援を含め、復職に向けた取り組みを行うことに同意していること。
 - 現在継続的に治療を受けており、通院、服薬の自己管理ができること。断酒していること。
※当センターは治療を目的とした場ではありません。
 - 起床・就寝時間が安定し、平日の半日（4～5時間程度）自宅外活動ができていること。
 - 支援期間の中盤以降に、下記「1週間のスケジュール例」の安定通所が見込めること。
 - 復職をテーマとした小集団でのグループ活動や、事業主との相談ができる程度に、症状が改善していること。
- ★支援期間は個別に設定します。休職期間が6ヶ月以上残っていると、無理なくプログラムを受講していただけます。

※リワーク支援は復職の可否を判断するものではありません。

■ 雇用事業主の方へ

- 事業主が雇用保険適用事業所であること。
- ★ 国、地方公共団体、特定独立行政法人は支援対象外となります。
- 休職中の対象者の復職受け入れを予定していること。
- リワーク支援期間中に対象者との面談を実施する等リワーク支援の効果的な実施に向けての協力が可能であること。
- 復職に向けて産業保健スタッフによるケア、ラインケア（職務内容、緩和勤務、復職に向けた職場のサポート体制等）について検討する用意があること。
- ★ 同時期に、複数人の社員の受講を希望する事業主については、相談の上、それぞれのプログラム利用開始時期等を調整させていただく場合があります。

■ **主治医** には、対象者の症状の管理や体調変化に応じた対応、復職にあたっての留意点等に関する助言、治療計画の情報提供を頂くといった協力を頂きます。

プログラムの日程、内容

■ 支援時間は、10～15時 土日祝日はお休みです（毎週木曜日は午前のみ）

作業課題について

- 読書課題
職場復帰に必要なセルフケア、疾病管理の方策に関する知識の習得
- 事務作業
データ入力、伝票作成・照合、作業日報集計、顧客データベース検索修正
- 軽作業
商品ピッキング
- 協同作業
協同研究、プレゼンテーション

講座について

- ストレス対処と再発予防講座
- 認知行動療法の考え方を習得する講座
- コミュニケーション講座
- ライフキャリア講座
- アンダーコントロール講座
- グループミーティング
- 双極性障害のセルフケアに関する講座

※対象者の個々の職種、職位、疾病の状況、回復の程度等に応じて、担当カウンセラーと相談しながら、目標を設定し、受講する講座や作業内容を決定します。

1週間のスケジュールの例

	午前 (10:00～12:00)	午後 (13:00～15:00)
月	作業・個別課題	コミュニケーション講座
火	作業・個別課題	ストレス対処講座
水	作業・個別課題	認知行動療法講座
木	双極性障害講座	
金	アンダーコントロール講座	担当職員との個別面談

Q：利用に費用はかかりますか？

A：利用料はいただきません。昼食費、交通費は自己負担です。

Q：障害者手帳は必要ですか？

A：手帳がなくても、ご利用できます。

Q：リワーク支援期間中、車で通えますか？

A：原則、公共交通機関の利用をお願いします。

その他、ご不明な点があれば、お問い合わせください。